

ライフケアガーデン湘南 特定入居4階

症 例 概 要 利用者 : 80代 女性 要介護2

利用期間 : 2021年6月～ 2022年4月 現在

主疾患 : パーキンソン病、圧迫骨折・大動脈瘤後遺症・腰椎すべり症・うつ病

経 過 : 70代でパーキンソン病の発病、大動脈瘤手術・圧迫骨折、ご家族の不幸が重なり気力が衰える。2020年サービス付高齢者向け住宅に入居するが他者交流が無い事、医療サポートが不十分という理由で退去。当施設に入居後も、他者交流が少ない事やうつ症状から籠りがちになる。交流や外出の機会を増やし、看護連携で内服処方。気分に合わせて個別対応で症状が軽減し笑顔が増えた。

内 容

入居当初から体操や食事の時間以外は、居室で過ごされている事が多かった。体調や気分の変化が多く、悪化時は居室に籠りがちで、「もうここには居たくない。」等のネガティブな発言が聞かれていた。

入居時アセスメントでは「コロナの影響で外出が出来なくなり楽しみがなくなったので、レクリエーションや企画に参加して交流を持ちたい」とご要望があった。しかし、入居しているフロアでは様々な症状でコミュニケーションが困難な方が多く、交流をしながら楽しくレクリエーションを実施する事が中々でできずにいた。徐々に食事の席に来られなくなり、部屋食対応の要望が増えてきてしまった。

3月営業マネジャーより「ご家族から、ご本人に電話した際に具合が悪い訴えが聞かれうつの症状かもしれない。声を掛けて気にかけて頂きたい。笑顔で元気を与えて頂きたい。」と連絡が入り対策を検討。

ADLやコミュニケーション能力が同程度のご入居者が多くいるフロアでのレクリエーションにお誘いする提案があり感染対策を講じた上で実施する事になった。

ご本人から積極的な参加希望があり実行、「坊主めぐり」レクリエーションでは、引いた花札に一喜一憂され、とても良い笑顔が見られた。

その後、外出の提案も多くありお誘いする機会を増やすことができた。気分により断られる事もあったが、参加された際にはとても楽しまれていた。

お花見では自ら「歩きたい」と車椅子から立ち上がられて春の雰囲気を感じて身体で楽しまれていた。

看護師と連携して往診で抑肝散が処方された。現在も日により落ち込んでいる状態はあるが、笑顔

の時間が徐々に増えている。

最近では、趣味の「編み物を再開したい」「今までの貼り絵作品を見て」と意欲的な場面もある。今後も個別にお部屋食対応する事や、他者交流のサポートや外出企画など体調や気分に合わせて対応ができる様に努めていく。